

連携に使える! 医学用語をスッキリ理解 / 新連載4本スタート

介護専門職の総合情報誌

おはよう21



新連載スタート!

「おたがいさん」のつくり方 加藤忠相

41歳、認知症と歩む 丹野智文

“お笑い”視点で学ぶ 介護記録の書き方 柳本文貴

変化を見逃さない! 身体観察のポイント 桑原紀子

おはようインタビュー

今井祐輔さん (株式会社和が家 代表取締役)

鎌田實の△な介護のすすめ

対談 下河原忠道さん

12

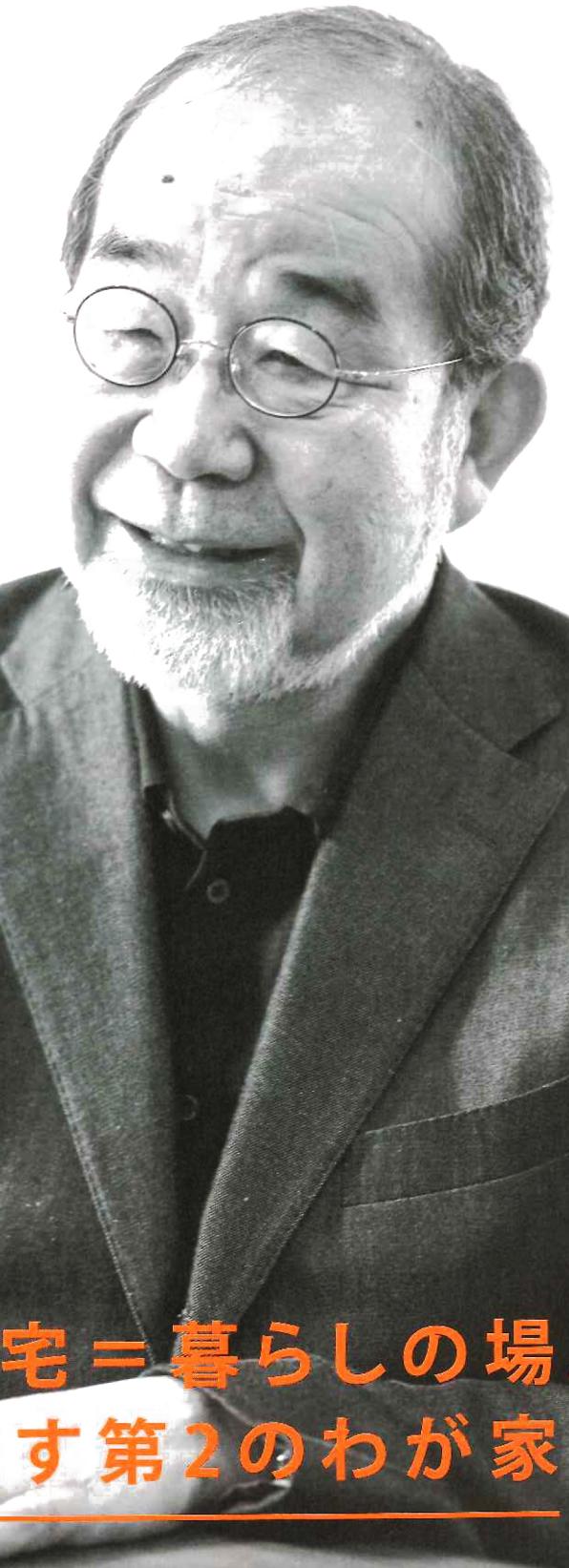
December
2015

特集

知っておきたい 医学用語 63

下河原忠道さん

サ高住は住宅＝暮らしの場。
銀木犀が目指す第2の我が家



プロフィール
下河原忠道
(しもがわら・ただみち)

1971年、東京都生まれ。父親の経営する鉄鋼会社に勤務していた1998年に渡米し、「スチールフレーミング工法」を学び、帰国。2000年に株式会社シルバーウッドを設立し、「スチールパネル工法」を開発(特許取得)。高齢者向け住宅工事を受注したのを契機に、高齢者向け住宅・施設の企画・開発事業を開始。2011年より「銀木犀」ブランドのサ高住等を運営する。一般財団法人サービス付き高齢者向け住宅協会理事。

良い意味での無駄がある

遊びの効用

サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）「銀木犀」の運営で注目されるシルバー・ウッド代表取締役の下河原忠道さんに、サ高住に求められるもの、自身が追求しているサ高住のあり方を伺いました。

鎌田▼ 聞くところによると、若いころはアルマードを着て、高級外車に乗つてすごく遊んでいたとか？

下河原▼ そうですね。（笑）

鎌田▼ 正直でいいね。それが、どうしてサ高住を始めるようになったの？

下河原▼ 不況で会社の経営がうまくいかなくなつて、新しい技術を探してアメリカに行きました。そこで鉄鋼を使って低コストで建物を建てる工法を学んで帰つてきてから、高齢者住宅の建設の仕事を受注するようになつたのがきっかけです。

鎌田▼ アメリカでは真面目にやつた？（笑）

下河原▼ これだけ遊んだのでもう悔いはないよ（笑）、アメリカではすごく真面目に勉強しました。

鎌田▼ 僕は人間にとつて「遊び」はすごく大事だと思っていて、新しい発想をするときにはその経験がプラスになるんじやないかと思うんですね。今日、見学させていただいて、発想が遊んでいてすごくいいなと思いました。効率だけを考えたらなくともいい無駄が、良い意味で随所にみられます。

見えるところにお金を

鎌田▼ サ高住って端的に言うとどういうところですか？

下河原▼ 基本的にはケアがついている賃貸住宅だと思っています。その意味で、自分の意志で「ここに住みたい」と入つてももらえる場所であります。

下河原▼ 父が鉄鋼の加工販売をする会社を経営しており、その仕事をしていました。

鎌田▼ 先ほど、5月にできたばかりの「銀木犀・西新井大師」を見学させていただきましたが、駄菓子屋が併設されていましたが、駄菓子屋の中にもちょっとした遊びがたくさんあって面白いですね。もともとはどんな仕事をやっていたの？

下河原▼ 父が鉄鋼の加工販売をする会社を経営しており、その仕事をしていました。

鎌田▼ お金はどのくらいかかりますか。

下河原▼ 銀木犀は入居にあたって、入居金も敷金・礼金もいりません。月額費用としては家賃、共益費、生活支援サービス費、食費で13～15万円です。

鎌田▼ これだけのところに住んで、食事もついていてこの値段は安いよね。食事にこだわっているところはある？

下河原▼ 冷凍ができるだけ使わず、素材の味を大切するところと、味付けも他よりも濃いめで…。

鎌田▼ 健康よりも、おいしいほうがいい？

下河原▼ そうですね。味を気にして少し寿命がのびるより、おいしかったと言いながら逝くほうがいいのではないかと思っています。

鎌田▼ 今、対談している食堂の家具にしても木の風合いのとても良いものだし、壁



覚悟すれば 看取りはできる

ところまで受け入れています。覚悟をすればできます。

鎌田▼ 職員にも受け入れられている？

下河原▼ 看取りの研修などをやって、受け入れてもらえるようにしています。

鎌田▼ これまでどのくらい看取りをしましたか？

下河原▼ 最初のサ高住を開いてから4年が経ちますが、30～40名の方は自室でお亡くなりになっています。私の感覚では、看取りというより、ご自身で最後まで生ききつているというイメージです。

鎌田▼ 医療的なサポートはどうしてます？

下河原▼ 看取りの時期に入つたら在宅療養支援診療所のドクターと必要に応じて訪問看護に入つてもらいます。それと併設の訪問介護の連携で十分看取りに対応できます。

銀木犀としては、入居者の方に食べる・飲むができるのであれば、ここで看取りを行なうことを推奨しています。そのために、土壇場になつて病院で胃ろうや延命治療をすることになる前に、ご本人・家族と希望をしっかりと話し合つておくようにしています。



鎌田▼ それは大事なことだよね。僕も遺言の最初に基本的に延命治療はしないことを書いています。でも、入居者が決めてくれればいいけど、なかなか難しいこともあります。

下河原▼ まず、入居段階で伺うと、半分くらいの方は延命治療をしないと希望されます。残りの方についても、銀木犀では利用者一人ひとりから職員がお話を聞いて、その方の「自分史」を作っているのですが、その過程で看取りについての話がスムーズにできることが多いですね。

鎌田▼ 下河原さんご自身はどんな最期を迎えるたいですか？

下河原▼ 2年前に結婚して、子どもが2人います。その子どもたちに家で看取ってほしいですね。

鎌田▼ その通りです。「第2のわが家」と感じていただけることが銀木犀の目標になっています。

下河原▼ 最後になりますが、これから夢は？ 銀木犀はどのくらい広げていきました？

鎌田▼ 30軒くらいまではいきたいなと考えています。ただ、それ以上に、地域に「ここは安心して死ねる場所だ」という認識が広まつてくれることのほうが、今は夢と言えるかもしれません。

鎌田▼ 期待しています。ありがとうございます。

には図書館のように本がディスプレイされているのも良いですね。こうしたことがで工法で作るのに比べると10%程度は低い工費で建てられると思います。その分、家具やインテリアなど手に触れたり目に見える部分にもお金をかけることができます。

下河原▼ 鉄筋コンクリートなどの従来の工法で作るのに比べると10%程度は低い工費で建てられると思います。その分、家具やインテリアなど手に触れたり目に見える部分にもお金をかけることができます。

鎌田▼ 今まで開設したサ高住の経営はもう少し必要だと思うことが多い、その意味でもこの高齢者住宅事業でしっかり利益を出すことを目指しています。

下河原▼ はい、うまくいっています。ほぼ満室です。

鎌田▼ ここは5月にオープンして4か月、入居者の状況は？

下河原▼ 定員が54人のところ現在は18名子どもたちが集まつくるんですね。こういう、地域に開くということは意識的に考えているの？

下河原▼ はい。子どもたちは、駄菓子屋にくるのもそうですが、その奥に続いている食堂にも入つてきて、入居者の横に座つて宿題をやつたりもするんですよ。先日はこの食堂で映画の上映会をやって、子どもを含め70～80人も地域の方に集まつっていました。そこで、ここがどんな場所かも説明して、子どもたちにもお年寄りの暮らす場所であることを理解してもらつたりしました。

鎌田▼ いいね。そのうち教員経験のある入居者が勉強を教えるなんてふうになれば嬉しいですね。

第2のわが家を目指して

鎌田▼ サ高住でよく言われる問題の一つに、元気なときはよくても、医療が必要になるとすぐ病院などに移されてしまうことがあります。慌てて質を下げるようにはしたくないです。

下河原▼ 銀木犀では希望があれば看取る

面白いね。ところで、介護の世界に入つてきて後悔はしてないですか？

下河原▼ ないです。楽しいことが本当に多いので…。この業界には経営のセンスがもう少し必要だと思うことが多い、その意味でもこの高齢者住宅事業でしっかり利益を出すことを目指しています。

鎌田▼ 今まで開設したサ高住の経営はうまくいってる？

下河原▼ はい、うまくいっています。ほぼ満室です。

鎌田▼ ここは5月にオープンして4か月、入居者の状況は？

下河原▼ 定員が54人のところ現在は18名子どもたちが集まつくるんですね。こういう、地域に開くということは意識的に考えているの？

下河原▼ はい。子どもたちは、駄菓子屋にくるのもそうですが、その奥に続いている食堂にも入つてきて、入居者の横に座つて宿題をやつたりもするんですよ。先日はこの食堂で映画の上映会をやって、子どもを含め70～80人も地域の方に集まつっていました。そこで、ここがどんな場所かも説明して、子どもたちにもお年寄りの暮らす場所であることを理解してもらつたりしました。

鎌田▼ いいね。そのうち教員経験のある入居者が勉強を教えるなんてふうになれば嬉しいですね。

第2のわが家を目指して

鎌田▼ サ高住でよく言われる問題の一つに、元気なときはよくても、医療が必要になるとすぐ病院などに移されてしまうことがあります。慌てて質を下げるようにはしたくないです。

下河原▼ 銀木犀では希望があれば看取る